



市保連 だより

2009
(10月)

[第389号]

平成21年10月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 重岡 啓一
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 鬼塚 静波
委員 建川 美徳
委員 村川 惠逸
委員 村上 裕季子
委員 平川 けい子
委員 伊形 福栄
委員 石角 奈二郎



理事会

風立ちぬ、いざ・・・

熊本市保育園連盟 理事長 重岡 啓一

会員のみなさん今日は。この四月から再び連盟の舵取り役を担うこととなりました。どうぞよろしくお願いします。

私達は現在、少子高齢社会の只中にあり、更に未曾有の経済危機の最中にあります。年金、医療、介護を始め、人口減少にどう歯止めを掛けるか、諸課題が山積しています。こうした中昨年来、保育制度のあり方が社会保障審議会少子化対策特別部会において議論されてきました。検討されている内容を見ますと現在の保育制度の運用改善や財源の確保だけでは待機児童対策や多様なニーズへの対応は困難な状況である、と結論づけています。従来の児童福祉施設としての保育所から、全ての子育て家庭への支援施設へと転換を図ろうとしています。

いくらかの例をあげますと、認可制から指定制へと参入の仕組みを緩和し、従来の施設整備費の補助金廃止から運営費への減価償却費相当額の上乗せ案、利用者と保育所との直接契約(代理受領)、あるいは利用者毎の保育時間の週二～三区分の設定、応能負担から応益負担、保育料徴集方法の改定等があります。

私達は、この制度改革にどう対処するのか、大きな分岐点に立たされています。それぞれが事態を認識され、組織として意見を集約し、まとまった行動を起こすことが求められています。

来年三月熊本市は近隣二町との合併がほぼ決定しています。順調に進めば平成二十四年四月待望していました政令指定都市が誕生します。現在116園の当連盟加盟園も129ヶ園となり、文字通り本市における就学前教育、子育て支援の

中核を担うこととなります。この間区制が敷かれることになり、区役所や福祉事務所、保健福祉センターの創設、再編成が行われることとなります。

当連盟にとりましても、ブロックの再編成や理事会、各委員会の在り方、公立保育園との関係構築等々限られた時間内で遅滞なく進めて参らなければなりません。現在市では第二次次世代育成支援行動計画(案)が策定中ですが、この中での保育園の位置付けも重要な要因となります。又、再来年四月には九州新幹線の全線開通や中心市街地再開発事業も進行しつつあります。熊本市では将来を見据えて様々な計画、投資が今後も続けられる見込みで明るい展望も開けてくるでしょう。

当連盟の法人移行問題も昨年特別委員会を設置し、現在一般社団法人と公益社団法人の比較検討に入って年度内に結論を出す予定になっています。定款の変更、役員構成、会員資格あるいは税財源迄及ぶことが予想され、慎重な対応と同時に、熟慮断行しなければなりません。

このように重要な課題が山積していますが、「着眼大局、着手小局」の心構えで臨んでゆく所存です。組織は大きくなればなるほど、細かなところまで眼が行き届かなくなり勝ちです。出来得る限りみなさんの気持を忖度しながら組織の運営に当たって参ります。ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。





保育士会

沢山の支えに感謝して

すぎのこ保育園 保育士 中川 千紗芽

小さい頃から憧れていた保育士になることができ、早いもので二年目になりました。今私は、二歳児クラスの担任を受けもち、日々子ども達から様々な事を教えてもらいながら過ごしています。

一年目当初は、仕事を覚えるのに精一杯で落ち着いて子どもと過ごす事ができませんでした。でも、そんな私に対して子ども達は、いつも明るい笑顔で「先生おはよう」「何しよっと？」等々話し掛けてくれました。

その時の子ども達の笑顔は、とても輝いて見え、いつもどこかに不安を抱えて毎日を過ごしていた自分を温かく包んでくれていたのを覚えています。それは今でも変わりません。



二年目を迎え、私自身徐々に仕事にも慣れてきました。まだまだ未熟で、先輩の先生方から様々なアドバイスや指導を頂いています。その一つ一つの言葉が、自分の考えになかったもので、とても有り難く受け止め、感謝している毎日です。

今のクラスを受け持ち、やがて半年が経とうとしています。四月当初は、新しいクラスとなり不安がっていた子ども達も、今では頼もしく

成長しています。そんな頼もしく満面の笑顔に向けてくれる子ども達から、私は沢山のパワーをもらっています。そんな子ども達に感謝しながら、これからも笑顔の絶えない保育士でいたいと思います。



調理師会

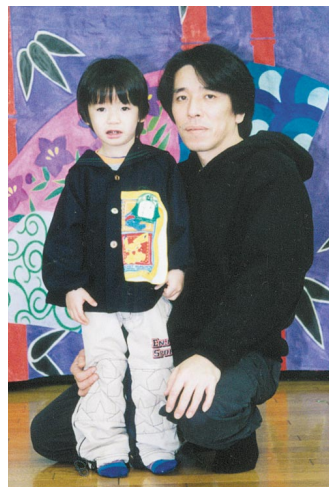
子ども達の笑顔に喜びをもって給食を作る

やまびこ保育園 調理師 曾我 孝司

毎朝、「先生おはよう！今日も美味しい給食作って！」と言う子どもたちの元気な声を聞きながら「よし今日もがんばるぞ！」と気合いを入れて一日がスタートします。

当初は「保育園の給食！かんたん、かんたん」と高を括って始めたものの、失敗ばかりでした。切った食材のサイズが大人サイズで前任の調理師の先生に「子どもの口には、大きすぎ!!」とか「野菜嫌いの子どもの気持ちになってごらん」とよく言われて、切った食材をさらに切り直す手間のかかる作業をしていました。

その失敗のおかげで、はじめから勉強し試作を作っては、園長先生や保育士の先生方に試食して頂き、一品、二品と私なりの献立が出来上が



ってきました。

また、「食育」の一環として、農園の畑を試行錯誤しながら土作りをして、肥えた畑にし、今年の春に子どもたちと夏野菜の苗を植えました。毎週畑の手入れをしては農家の人の苦勞に「感謝」し、野菜の手入れや成長を観察しては、植物の生命力に「感動」をしました。

その甲斐あって収穫期には、トマト、ピーマン、きゅうり、なす、小松菜、チシャ、いんげん豆など、子どもたちが「わあーいっぱい採れる」と言うくらい収穫できました。更に自分たちで育てた野菜なので、今では野菜嫌いが減少し野菜を主にした給食を作っても子どもたちから「これ、美味しかったから、また作って」の声が上がり嬉しい毎日を過ごしています。



園長会

子どもを見つめて

出水南保育園 園長 石塚規子

私は保育園で子ども達と係わって30余年になります。日々保育していく中で、子どもの本質は少しも変わっていないと思います。子ども達は純粋で好奇心が強く、生命力に満ちあふれています。しかし取り巻く環境によっては、大きく育ちが変わっていくように思えます。

年ごとに少子化が進み、子ども達は、大事に、大事に育てられ望むものは何でも叶えてもらえます。まるで真綿にくるまれたような生活です。果してそれでいいのだろうか疑問に思えます。人生の一番大切な礎となるこの時期に、子ども達には、大人になっても困らない自立心や豊かな心が育ってほしいと思います。その為、私達保育者や親は、どのように子ども達と係わったらいいのでしょうか。毎日の生活の積み重ねに、その答があるように思われます。

例えば、子どもが何でも自分でやりたがる時

期に、失敗を恐れず、励ましてやらせてあげる、その積み重ねは、達成感や自信につながっていきます。転んだら自分で立ち上がるまで待つてあげるゆとり、いけないことをした時、きちんと向き合って話してあげる等々、継続は力となって身につけていきます。



私達保育者は、保護者と信頼関係を保ちながら保育していくことの大切さを常に感じています。また子ども達を取り巻く地域社会と連携して育てていくことも大切です。私は、この時期の保育に携われることに、責任を感じると同時にやりがいを感じています。

10月の予定

| 会合 | 日 | 時間 | 会場 | 研修内容 | |
|--------------|-------|-----------------|----------------------|--|---|
| 年齢別研修会・実技研修会 | 0、1歳児 | 16(金) | 14:00 ～17:00 | パレア | 「グループ討議」 講師：前 熊本県立保育大学非常勤講師 田上邦子氏 |
| | 2歳児 | 21(水) | 14:00 ～17:00 | パレア | 「グループ討議」 講師：前 水前寺保育園園長 城ヶ峰直子氏 |
| | 3歳児 | 14(水) | 14:00 ～17:00 | 国際交流会館 | 「グループ討議 (事例検討会)」 講師：川尻保育園園長 川口延子氏 |
| | 4、5歳児 | 29(木) | 14:00 ～17:00 | 国際交流会館 | 「グループ討議」 講師：熊本学園大学 宮里六郎氏 |
| | 実技研修 | 28(水) | 14:00 ～17:00 | 国際交流会館 | 「すぐに使えるお話のアイディア」 講師：つばめ保育園主任保育士 本田ひろみ氏 |
| 第2回 保育士全体研修会 | 24(土) | 14:00 ～17:00 | 崇城大学 市民ホール | 「子どもの育ちを支える為の役割を考える」 講師：精華女子短期大学 学長代行 菱谷信子氏 | |
| 第2回 調理師全体研修会 | 15(木) | 14:00 ～17:00 | 崇城大学 市民ホール | 「出産と食事、ティアの食事による授乳との関連、子育ての変化」 講師：末永産婦人科医院 師長 末永明子氏 | |
| 看護師等研修会 | 20(火) | 14:00 ～17:00 | 熊本市子ども文化会館 4F 多目的ホール | | |
| 理事会 | 14(水) | 14:00 ～17:00 | 熊本市国際交流会館 3F 国際会議室 | | |
| 園長会 | 22(木) | 14:00 ～17:00 | くまもと県民交流館パレア 9F 会議室1 | | |
| 第18回 わんぱくまつり | 18(日) | 10:00 ～15:00 | 立田山野外保育センター 雑草の森 | | |

ご結婚おめでとうございます

- 千草保育園 9月13日(日) 保育士 内田ルミ子 (旧姓 石川)
- つばみ保育園 11月7日(土) 保育士 尾場瀬尚美 (旧姓 段村)

「けんちゃん まこちゃんと なにができるかな体験」

去る7月22日に実技研修会「身近な素材を使った表現あそび」が、熊本市総合体育館 青年会館ホールで行われました。保育士80名の参加があり、創造的な体験による研修が進められました。



講師は、劇団道化の西村健治さんと西雅子さん。まずは、見立てあそび・表現あそびのお手本

◎こいのぼり…棒・布団ばさみ2個・洗濯ばさみ大4個、小1個

◎あひる・白ちょう・ペリカン…タオルやバスタオル

◎バレリーナ…はたき・とび縄・目玉クリップ3個



エアー縄跳び・・・一人で。

二人で・・・「おはいんなさい」。

みんなで大縄跳び・・・8の字跳び。

回し手と跳ぶ人のタイミングが合うと、まるでそこに跳び縄があるように見えてくるから不思議です。



様々なものを使って、創ってみましょう。

切ったり貼ったりしないで素材を変身させましょう。

身近にあるいろんなものがステキな表情で動き出します。

さあ、持ち寄った道具で、何ができるかな。イメージが浮かぶまで、しばらく道具とにらめっこ。



一人ひとりで作ったものをもとにお話を考えます。班毎の発表会に向けて即興で台本作り。そして、発表。



演じるときのポイント

見立てたものになりきる。声で、動作で。演じるときは、表情が見えるようにして、立って演じた方が観ている人に伝わりやすい。

参加者の感想より

- ・ 実技研修ということで、とても楽しみに参加しました。一人では浮かばないアイデアがたくさん出て、今後保育へ活かしたいと思いました。
- ・ 身近な物がいろんなものに変身する楽しさも知ったので、ぜひ子どもに伝えたいです。
- ・ 明日すぐに保育に使いそうです。身近な素材でも演じる人の表情や動きで十分にイメージが広がり、とても楽しいものが出来ると思いました。保育の中でも表情や動きの大切さを感じました。
- ・ 初めて会う先生方と協力してすてきな劇が出来ることに感動しました。皆それぞれの持ち味を出せたと思います。これがチームワークにもつながると思いました。